

「新物性の理論研究会」プログラム

—— 高橋特定領域「分子性導体」(A05班:新物性の理論) ——

日時: 2005年11月22日(火) 13時25分 — 23日(火) 16時5分

場所: 分子研 岡崎コンファレンスセンター (<http://www.occ.orion.ac.jp/>)

[11月22日(火)]

13:25-13:30 開会

13:30-14:00 手塚真樹(東大理)、有田亮太郎(MPI Stuttgart)、青木秀夫(東大理)
「分子内フォノンと結合した相関電子系のバンド構造と超伝導」

14:00-14:30 太田幸則(千葉大理)

「準1次元ハバード系のスピン三重項超伝導」

14:30-15:00 長谷川泰正((兵庫県立大学・物質理学研究科)

「擬1次元系での電子相関と電気伝導度の磁場角度依存性
(マジックアングル効果)」

15:00-15:30 吉岡英生(奈良女子大理)

「一次元拡張ハバード模型の電荷秩序状態におけるナイトシフトと
核スピン緩和率」

15:30-15:50----- 休憩

15:50-16:20 前島展也(分子研)

「二量化した一次元強相関電子系における光誘起ダイナミクス」

16:20-16:50 宮崎剛(物材機構)

「 β -(ET)₂ICl₂の絶縁相と α -(ET)₂I₃に対する第一原理電子
状態計算」

16:50-17:20 石橋章司(産総研)

「単一成分分子性導体の第一原理電子状態計算」

18:00-20:00 懇親会(職員会館2階)

[11月23日(水)]

- 9:00-10:00 森 初果 (物性研)
「 θ 型 ET 塩の電荷秩序とサイリスタ効果」
- 10:00-10:30 片山新也 (名大理)
「 α -(ET)₂I₃ 塩のゼロギャップ半導体における電気伝導度」
- 10:30-10:45 休憩
- 10:45-11:15 福山秀敏 (東北大金研)
「On the instability of zero-gap state」
- 11:15-11:45 黒木和彦 (電通大量子物質工)
「 θ -(BEDT-TTF)₂X における電荷揺らぎ：ネスティングと遠距離相互作用の効果」
- 11:45-12:15 田仲由喜夫 (名大工)
「擬二次元系 κ -ET 塩における超伝導とモット転移」
- 12:15-13:30----- 昼食
- 13:30-14:30 鹿野田一司 (東大工)
「2次元三角格子系のスピン液体と超伝導」
- 14:30-15:00 堀田知佐、古川信夫、仲川彰彦、清田哲広、久保健 (青学理工)
「異方的三角格子上の電荷秩序」
- 15:00-15:30 渡部 洋、小形正男 (東大理)
「 θ -(ET)₂X における電荷秩序と電荷揺らぎによる超伝導の可能性」
- 15:30-16:00 金子真人、小形正男 (東大理)
「 θ -(BEDT-TTF)₂X における電荷秩序状態の平均場近似による研究」
- 16:00-16:05 閉会